

平成 29 年度 事業中間報告書 (12 月 1 日現在)

コース	<input type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input checked="" type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	下津井の路地に暮らす
団体名	一般社団法人 クリエイターズラウンジ
担当課	企画財政局 くらしき移住定住推進室

1 事業の成果

平成 29 年度申込書（様式第 2 号）に記載した「5(2) 事業の実施に期待する効果」に対応する成果を記入してください。（※実施した事業の詳細は「4 事業実施記録」に記入してください。）

- イ) 今年度の事業を通しての移住者は、未だゼロである。
- ロ) 毎月続けている「路地めぐり」には、定員八名のところ、毎回五人以上の参加者があり、十人を超える時もある。
- ハ) 12 月には「空き家活用説明会」を、下津井の地元町内会の協力を得て、五箇所の地区（字単位に近い範囲）で計五回行う。チラシを添付しています。

2 事業の自己評価

事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば 100 点とします。なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は 100 点を超える点数を記入してください。

65 点

3 事業の課題

事業を実施する中で見えてきた課題を記入してください。

- イ) 空き家のオーナーの理解を得ることが、一番重要なことだということ。
- ロ) 解体しなければならいほどの老朽化した建物が、20 軒ほどはある。
- ハ) 町内会が主体となって、空き家の「持ち主調査」を行う必要がある。
- ニ) 現代的な便利さや雇用がない下津井地区だが、一方では、多様化する生活スタイルが広まる中で、低額な住居費に魅力を感じて、穏やかな港町で暮らしたいと願う人が多いことがわかった。提供できる空き家が見つかったら、そのようなアピールをして行く必要がある。

4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
「路地めぐり」 鷺羽山の東に位置する「大島」地区を歩いた。	4月22日	「大島」地区	2	5
「路地めぐり」 鷺羽山の東に位置する「大島」地区を歩いた。	5月20日	「大島」地区	2	5
「路地めぐり」 下津井東小学校がある「田之浦」地区を歩いた。	6月10日	「田之浦」地区	2	5
「映画会」 タイトル；tomorrow パーマネントライフを探して	6月17日	児島市民交流センター	1	23
「映画会」 タイトル；tomorrow パーマネントライフを探して	6月18日	児島市民交流センター	1	25
「路地めぐり」 下津井東小学校がある「田之浦」地区を歩いた。	7月22日	「田之浦」地区	2	7
「路地めぐり」 下津井東小学校がある「田之浦」地区を歩いた。	8月26日	「田之浦」地区	2	12
「空き家活用説明会」のチラシ発送 12月に行う「空き家活用説明会」のチラシを発送した	11月25日	ヤマグチ建築デザイン	3	3
「路地めぐり」 下津井西小学校の西側に面する「寺井戸・上町」地区を歩いた。	11月25日	「寺井戸・上町」地区	2	5